

平成21(2009)年10月1日

がっこう  
学校だより

に ち り ん



# 日 輪

ほんこうきょういくもくひょう  
本校教育目標

ふれあおう  
たの  
楽しもう  
まな  
学びあおう

へいせい ねんど がっこう  
平成21年度10月号

よこはましりついできたしやうがっこう  
横浜市立飯田北小学校  
こうちやう まきき ひろあき  
校長 巻木 博明

## あき 秋たけなわです

こう ちやう まきき ひろあき  
校長 巻木 博明

モズのけたたましい鳴き声が響きわたる時期になり、めっきり涼しくなり、過ごしやすくなってきたように思います。秋の七草に挙げられている、すすき・萩・葛などが本校の学区でも見られ、すすきは穂をつけ、萩と葛は赤紫色や紫色の花を咲かせています。秋分の日(彼岸の中日)の前には、彼岸花の赤色と白色の花も見ることができます。コオロギなど秋の虫たちも、仲間を確認しているかのようにきれいな澄んだ音色を響きわたらせています。

5年生が学校の水田に植えた稲が、頭を垂れて穂がたわわに実っています。今年もスズメ除けの網をしっかりと張り巡らしているので、収穫が期待できそうです。また、学校農園に全学年で植えてあるサツマイモも葉をいっぱい茂らせているので、こちらは大きな芋を収穫できそうです。

9月は、Y150の見学や校外学習が立て続けにありましたが、無事に終わることができました。この間のご協力に感謝申し上げます。23日(水)に三ツ沢陸上競技場で行われた市球技大会・サッカーの部に、5年生と6年生の有志22名が参加してきました。参加した児童の皆さんは、朝練習等で身に付けた技を全面芝生のコート上で発揮し、貴重な経験を積むことができたように思います。現地まで駆けつけてくださった保護者の皆様、暑い中での応援ありがとうございました。

先日は、いちよう団地連合自治会と上飯田連合自治会の敬老会に出席させていただきました。現在、日本の人口の中で65歳以上の高齢者が、男性は五人に一人、女性は四人に一人の割合でいらっしゃるということで、両会場にご参加の方々もとてもお元気で敬服いたしました。中にはクラブボランティアとして、本校に来てくださっている方々のお姿もあり、これからも高齢者のこれまでに培ってこられた知恵や技を拝借する機会をもち続けていきたいなと思いました。

10月は、前期のまとめの時期でもあり、後期の始まりの時期でもあります。この時期

は、食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、実りの秋などと呼ばれている秋です。それぞれに秋を楽しみ、満喫してほしいなと思います。

## 読書は頭と心の栄養

10月19日(月)から11月20日(金)まで、秋の読書月間です。秋分の日が過ぎて、これからは昼よりも夜の時間が長くなります。このような時期の夜長に読書にいそしんでみては如何でしょうか。そこで、今月号では読書の素晴らしさについて考えてみたいと思います。

一つ目は、考える力を育ててくれます。

一瞬一瞬で画面が変わるテレビと違って、自分のペースで読むことができます。また、前に戻ることもできるし、何回でも読み返すこともできます。いつも「自分だったら」と考えるゆとりができます。こうして、考える力が育つと作文が上手に書けるようになり、表現力が豊かになり、漢字もどんどん使えるようになります。また、経験できない遠い外国や昔のことなどを読んで知ることによって、教養や知識の量も増え、読解力や想像力なども身に付いてきます。

二つ目は、他の人とのコミュニケーションが上手にとれるようになり、心も豊かになります。

本にはたくさんの人や動物などが登場します。本に出てくる動物は、人間と同じように話をします。うれしいこと、悲しいこと、驚いたことなど、人の気持ちや考えていることがわかるようになります。また、時と場所を離れた人間と出会うことで、自分と向き合うことができます。読書をするのでつらい経験を乗り越えることができ自分という人間の幅を広げてくれます。さらに、読書の幅が広いと一つのものを絶対視しないため、多様なものの見方・考え方もできるようになります。

三つ目は、読書を通して大きな夢を与えてくれます。

ある人の伝記を読んで、その人に感動し、そのような人になりたい、社会や人の役に立ちたい、また、宇宙の不思議さに出会った時、将来宇宙飛行士になって自分の目で見たい等々、それぞれが大きな夢を与えてくれます。

まだまだ読書の素晴らしいところが挙げられると思いますが、以上三点に絞って考えてみました。

本校では既に「朝の10分間読書」と称して、毎週火・水・木曜日の朝8時25分から35分までの10分間を読書の時間として取り組んできています。この時間帯になると、各学級では各自が思い思いの本を探しておいて、静かに読書にいそしんでいます。クローバー団地にある「モチモチ文庫」の笠原八重子様には、水曜日に1年生と2年生と3年生の教室で、「読み聞かせ」をさせていただいております。1・2・3年生はこの時間をとても楽しみにしています。また、「青い鳥」や泉図書館の皆様には、ブック・トークやお話会をさせていただいております。

読書活動においても、保護者や地域の方々のご支援を賜り、感謝申し上げます。

## 冬芝も育って！

9月26日（土）に秋晴れの下、区役所や地域の方々、本校の保護者と児童の皆さんが総勢80名参加して、冬芝の種まきを行いました。暑い中でのご協力、誠にありがとうございました。現在緑を保っている芝は夏芝で、これから先気温が低くなると葉は枯れたように黄色くなってしまふとのことです。そこで、夏芝の根や茎を保護するために、冬芝を育てる必要が生じます。冬芝は夏芝のようにポット苗を植えるのではなくて、種をまいて、そこから芽を出して成育させるとのことです。芽が出て、ある程度まで育つのに1カ月近くかかるとのことで、ロープを張って立ち入り禁止にしています。冬でも緑の絨毯を維持するために、少しの辛抱をお願いします。

当日は種まきの他に、空気が地中に入るように穴を開けるエアレーションという作業と目砂をまく作業なども行い、作業が一段落したところで、芝生の上に座って、おにぎりを食べながらピクニック気分を味わいました。4年生・5年生・6年生の有志による「グリーンキーパーチーム」の25名の皆さんが、島唄などの歌も披露してくれました。大人のグリーンキーパーチームの皆様は、毎週水曜日の午前9時に校庭に集合して、草取りや芝刈りなどの作業を行うことになりました。ご協力いただける方は、お気軽にご参加ください。

◇◇ 9/26（土）

「冬芝種まきイベントと鑑賞・親睦の会」より ◇◇



かみい だれんごうえのしたかいちよう  
上飯田連合榎下会長、  
れんごうみやざきかいちよう  
いちよう連合宮崎会長  
むか かいかい  
を迎えての開会セレモニー



しば ね くうき えいよう おく  
芝の根に空気の栄養を送る  
エアレーション。けっこう力が  
いります。



ひりよう き つか  
肥料まき機を使つての  
ふゆしばたね きんいつ さんぶ  
冬芝種まき。均一に散布さ  
れます。



めすな ちようごう ふゆしば  
こちらは目砂と調合した冬芝  
を手でまいているエリアです。



さいご たの  
最後はみんなで楽しいピクニック。  
こどもグリーンキーパーチームが元氣な  
うたごえ も あ  
歌声で盛り上げてくれました。